

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和6年度病虫害発生予報第3号を發表します。

令和6年度病虫害発生予報第3号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稻	いもち病（葉いもち）	平年並	平年並
	紋枯病	平年並	平年並
	縞葉枯病	平年並	平年並
	セジロウンカ	やや多	やや多（早い）
	トビイロウンカ	やや多	発生時期 早い
	ヒメトビウンカ	平年並	平年並
	ツマグロヨコバイ	平年並	平年並
	斑点米カメムシ類	やや多	平年並
	イネツトムシ	平年並	平年並
	フタオビコヤガ	平年並	平年並
コブノメイガ	平年並	平年並	
なし	黒斑病	平年並	平年並
	黒星病	平年並	平年並
	ハダニ類	平年並	平年並
	アブラムシ類	平年並	平年並
野菜等共通	ハスモンヨトウ	やや多	平年並
	シロイチモジヨトウ	やや多	平年並
	ハイマダラノメイガ	やや多	やや多
	オオタバコガ	やや多	やや多
果樹等共通	果樹カメムシ類	多	多

太文字の病虫害：向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

*** 気象の概況**

近畿地方 1か月予報

(7月13日から8月12日までの天候見通し)

令和6年7月11日

大阪管区气象台 発表

＜予想される向こう1か月の天候＞

近畿地方 1か月予報 (07/13~08/12)		
2024年07月11日14時30分 大阪管区气象台 発表		
特に注意を要する事項		期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。
向こう1か月 07/13~08/12	天候	期間のはじめは、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 07/13~07/19	気温	1週目は、高い確率50%です。
2週目 07/20~07/26	気温	2週目は、高い確率70%です。
3~4週目 07/27~08/09	気温	3~4週目は、高い確率50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 07/13~08/12	
		1週目 07/13~07/19	
		2週目 07/20~07/26	
		3~4週目 07/27~08/09	
降水量	近畿地方	向こう1か月 07/13~08/12	
日照時間	近畿地方	向こう1か月 07/13~08/12	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

水稻

1 【いもち病（葉いもち）】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (±)
降水量は平年並～多い (+)
- (3) その他
5月22日より梅雨明けまで、兵庫県病害虫防除所HPで、いもち病（葉いもち）の感染好適条件の出現状況をBLASTAM情報として提供している。

2 【紋枯病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず） (-)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (+)

3 【縞葉枯病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず） (-)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (±)

(3) その他

本病害はヒメトビウンカによって病原ウイルスが媒介される。なお、対策についてはヒメトビウンカの項を参照する。

4 【セジロウンカ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多、早い** (+)
6月19日に予察灯（朝来市）で誘殺が認められた
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (±)

(3) 防除上の留意点

ア 本種は海外飛来性であり、梅雨前線に伴う気流によって中国大陸から飛来する。7月下旬から8月上旬にはほ場での発生状況をよく観察する。防除の目安は、幼虫で株当たり5～15頭である。

イ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

5 【トビイロウンカ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **予察灯への誘殺が早い (+)**
7月1日に予察灯（加西市）で誘殺が認められた
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (±)

(3) 防除上の留意点

ア 本種は海外飛来性害虫であり、“坪枯れ”を起こす重要害虫である。増殖型の短翅型雌と幼虫は株元に生息している。ほ場での発生状況をよく観察して発生を認めれば早期防除に努める。農業技術センター（加西市）に設置されている予察灯への誘殺がここ10年で最も早く認められたことから、普通期栽培のみならず、早期栽培においても発生状況の観察、早期防除に努める。

イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

6 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (-)

(3) その他

ア ヒメトビウンカは、イネ縞葉枯病の媒介虫となるため、本病への対策としては本虫種の防除が重要となる。

イ 本田におけるイネ縞葉枯病の初期発病株（葉色が薄くなり巻いて垂れ下がる「ゆうれい症状」を表す）は、後期発病（出穂異常）の増加につながるので、速やかに抜き取る。

ウ 初期発病株が多数確認される場合は、後期発病を予防するため、本虫種に対する本田防除を実施する。

エ 今年度の第1世代虫（コムギ採集個体）のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の調査結果については、一部地域では保毒虫率が平均（1.4%）を大幅に超えた5%以上の値を示している地域もある。各地域の保毒虫率については兵庫県病虫害防除所HPを参考とする。

オ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

7 【ツマグロヨコバイ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (-)

8 【斑点米カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **やや多**

(2) 根拠：発生現況 平年並（±）
 気象予報 気温は高い（+）

(3) 防除上の留意点

ア 出穂期までに生息場所であるほ場周辺（畦畔等）の除草を行い生息密度の低下を図る。ただし出穂直前と出穂後の畦畔除草は本田へのカメムシ類の侵入を助長するので避ける。

イ 農薬散布は出穂期以降に実施する。

ウ イネカメムシについては、周辺より出穂期が早いほ場では、集中して被害を受けやすい。また、そのようなほ場の隣接ほ場では出穂が遅い場合も被害を受けやすいため、適切な防除を行う。さらにイネカメムシは出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させるなど収量への影響が大きいいため、ほ場内に発生が見られる場合は薬剤防除を検討する。

エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

9 【イネツトムシ】

(1) 予想：発生量 平年並
(2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（-）
 気象予報 気温は高い（+）

10 【フタオビコヤガ】

(1) 予想：発生量 平年並
(2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（-）
 気象予報 気温は高い（+）

(3) その他

本種の類似種であるシロマダラコヤガの発生（食害）が見られている。食害痕がイネドロオイムシに似ており、防除の際には注意を要する。

11 【コブノメイガ】

(1) 予想：発生量 平年並
(2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（-）
 気象予報 気温は高い（+）

なし（青なし）

1 【黒斑病】

(1) 予想：発生量 平年並
(2) 根拠：発生現況 発生現況 平年並（±）
 気象予報 気温は高い（-）
 降水量は平年並～多い（+）

(3) その他

ア 農薬散布時は、薬液が十分かかるように留意する。

イ 園地を定期的に見回り、落下した果実・病葉は園外に持ち出し処分する。

ウ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選

定し、農薬使用基準を守る。また、耐性菌の出現を回避するため、同一系統の薬剤を連用しない。

エ 防除にあたっては、令和6年度病害虫発生予察防除情報第4号（令和6年6月10日発出、[https:// bojo.hyogo-nourinsuisange.jp/archives/1072](https://bojo.hyogo-nourinsuisange.jp/archives/1072)）を参考とする。

2 【黒星病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（－）
気象予報 気温は高い（－）
降水量は平年並～多い（＋）

3 【ハダニ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（－）
気象予報 気温は高い（＋）

4 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（－）
気象予報 気温は高い（＋）

野菜等共通

1 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）
気象予報 気温は高い（＋）
降水量は平年並～多い（±）

(3) 防除上の留意点

ア 本種の幼虫は、ピーマン、ナス、キャベツ、レタスをはじめ多くの野菜類を加害する。

イ 卵塊や集団でいる若齢幼虫を見つけたら、すみやかに捕殺する。

ウ 中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。

エ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

2 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）
気象予報 気温は高い（＋）
降水量は平年並～多い（±）

(3) 防除上の留意点

ア 本種の加害植物は、キャベツ、ピーマン、ナス、レタスをはじめ多くの野菜類

のほか、花き類など広い範囲に及ぶ。

イ 本種は茎葉の柔らかい部分を好んで食害する性質があり、定植直後の被害には特に注意する。

ウ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

3 【ハイマダラノメイガ】

(1) 予想：発生量 **やや多**

(2) 根拠：発生現況 誘致植物*（クレオメ）での発生量は**やや多**（+）

気象予報 気温は高い（+）

降水量は平年並～多い（±）

*対象とする害虫が好む植物で、発生状況を調査するために用いられる。

(3) 防除上の留意点

ア 本種はアブラナ科野菜を特異的に加害する。

イ 幼虫が生長点を食害するため、発生を確認してからの防除では手遅れなため、育苗期や定植直後の予防的防除に努める。

ウ 播種・定植時や育苗期に、粒剤や灌注で薬剤処理をした場合でも、その後の被害発生に注意する。天候等の条件により期待した防除効果が得られないこともあるので、本圃での薬剤防除の準備をしておくことが望ましい。

4 【オオタバコガ】

(1) 予想：発生量 **やや多**

(2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は**やや多**（+）

気象予報 気温は高い（+）

降水量は平年並～多い（±）

(3) 防除上の留意点

ア 本種の加害植物は、ピーマン、ナス、キャベツをはじめ多くの野菜類のほか、花き類など広い範囲に及ぶ。

イ 果実や花蕾に穿入した幼虫及び中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。

ウ 成虫の産卵、飛来防止による防除手法として、防虫ネット、黄色灯、性フェロモン製剤がある。

エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

果樹等共通

1 【果樹カメムシ類】

(1) 予想：発生量 **多**

(2) 根拠：発生現況 予察灯、フェロモントラップへの誘殺数は**多**（+）

気象予報 気温は高い（+）

その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生

量には隔年性があり、本年は発生が多い年に該当する。越冬世代の飛来は、例年であれば6月に減少傾向がみられるが、フェロモントラップへの誘殺数は多い状態が続いているため、果樹園への飛来も続く可能性がある。

(3) 防除上の留意点

- ア 無袋栽培の園地では、発生や被害を認めたら速やかに防除する。
- イ 有袋栽培であっても、果実の肥大時期には果実と袋が密着して外部から吸汁されるおそれがあるため、注意する。
- ウ 定期的に園を見回り、飛来状況の把握に努める。
- エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。
- オ 令和6年度病虫害発生予察注意報第1号（令和6年5月2日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1072>）及び同防除情報 第3号（令和6年5月28日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1084>）を参考とする。

防除上の留意点に記載している内容のほか、兵庫県総合防除計画を参照してください。

* 兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

* BLASTAM情報は以下のURLに掲載

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/blastam>

* 病虫害・雑草防除指導指針 農薬の検索は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/noyakusearch/hyogo>

* 病虫害・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

* この情報は、兵庫県病虫害防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

兵庫県病虫害防除所 0790-47-1222

2022年3月1日より「兵庫県病虫害防除所」X(旧Twitter)を開設しています。発生予察情報など病虫害に関する情報をいち早く提供しますので、是非フォローお願いします。

Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

